

令和6年度(2024年度)北海道・ハワイ州
高校生交換留学促進事業
Hokkaido/Hawaii High School Student Exchange Program 2024-2025

事業報告書



新 し い
自 ★ 分
始 ま る

令和7年(2025年)4月
北海道教育庁学校教育局高校教育課

Hokkaido Office of Education
Bureau of School Education
High School Education Division

1	はじめに	1
2	事業概要	2
3	ふるさと納税による留学支援について	3

4 派遣事業報告書

4-1 生徒編

・北海道札幌月寒高等学校 2年	5
「ハワイ留学レポート」	
・北海道札幌啓成高等学校 2年	8
「留学を終えて」	
・北海道札幌国際情報高等学校 1年	11
「ハワイでの2週間」	
・北海道札幌国際情報高等学校 1年	14
「ハワイでの2週間」	
・北海道室蘭栄高等学校 2年	21
「留学を通して」	
・北海道釧路明輝高等学校 1年	24
「交換留学を通して」	

4-2 教員編

・北海道釧路明輝高等学校 教諭	31
-----------------	----

5 受入事業報告書

受入学校（北海道札幌国際情報高等学校）による受入報告書	34
-----------------------------	----

6 アンケート結果から見える事業効果	37
--------------------	----

はじめに

北海道教育委員会では、北海道の友好提携都市であるハワイ州の行政機関のハワイ州教育局との間で、教育分野の協力に関する覚書を締結しており、両地域間の生徒同士の交流について連携をしています。

北海道からは、全道各地から集まった6名の高校生がハワイ州へ約2週間留学し、限られた時間の中でも大きく成長し、本道に帰ってきました。

また、ハワイ州からは7名の高校生が道立学校に留学し、約1週間、北海道の高校生とともに学校生活を過ごしました。

今後は、より一層グローバル化が進み、進学後や就職後も様々な場面で外国人と交流する機会が増えていくことが予想されます。そのような中、高校生段階で海外への留学や留学生の受入を通じて異なる習慣・価値観に触れること、外国人と意思疎通を図ることを経験することは、何事にも代えがたいものです。

将来、本事業に参加した生徒たちが協働し、地球規模の諸課題を自らに関わる問題として捉え、世界を舞台に国際的なルール形成をリードしたり、社会経済的な課題解決に参画したりするグローバル・リーダーや、グローバルな視点をもって地域社社会の活性化を担う人材として、活躍することを期待しています。

本事業は、地域企業、個人からのふるさと納税による寄附金のご支援を財源にいたしまして、北海道からハワイ州へ留学する高校生に対して、渡航費用の一部補助を実施しております。北海道の高校生のグローバル人材の育成に期待し、ふるさと納税によりご支援を賜りました皆様には心から感謝を申し上げます。

最後になりますが、快く生徒を送り出してくださった保護者の皆様、ホストファミリーとしてハワイ州からの留学生を温かく迎え入れて受けてくださった北海道札幌国際情報高等学校の保護者の皆様、業務多忙な中で御尽力いただいた高等学校の教職員の皆様に心から感謝を申し上げます。

今後も本事業が、本道とハワイ州との友好親善に寄与するとともに、本道の高校生に夢と希望を与える機会であり続けるよう努めてまいります。

令和7年（2025年）4月

北海道教育庁学校教育局高校教育課長 高 田 安 利

令和6年度(2024年度)事業概要

■事業概要

北海道とアメリカ・ハワイ州の高校生がペアを組み、両地域において、それぞれ1週間ホームステイをしながら、授業や学校行事等に参加する事業です。

本事業は、平成29年度(2017年度)、北海道とハワイ州が友好提携宣言に調印したことをきっかけに動き出し、試行実施を経て、令和2年(2020年)2月、北海道教育委員会とハワイ州教育局の教育長が、本事業を含む教育分野の協力に関する覚書に署名したことで、正式に事業を開始することとなりました。

その後、令和元年度(2019年度)に初めて生徒の相互派遣を実現し、本年度までに、北海道からの派遣事業については、15校の道立高校等から21名の高校生が参加し、交換留学生の受入事業については、16名のハワイ州の高校生を北海道で受け入れました。

■事業実施日程

実 施 内 容		月 日	備 考
派遣事業	北海道留学生出発	令和7年1月12日(日)	ハワイ州受入校 Waipahu High School 往路引率 ・北海道釧路明輝高等学校教諭 復路引率 ・北海道教育庁学校教育局高校教育課
	通学・ホームステイ	令和7年1月12日(日) ～26日(日)	
	北海道留学生帰国	令和7年1月27日(月)	
受入事業	ハワイ州留学生出発	令和7年2月7日(金)	北海道受入校 北海道札幌国際情報高等学校 引率(1名) ・Waipahu High School教諭
	通学・ホームステイ	令和7年2月8日(土) ～16日(日)	
	ハワイ州留学生帰国	令和7年2月16日(日)	

■北海道からハワイ州への留学生一覧

※学年は留学当時

	学 校 名	学校所在地	学年
1	北海道札幌月寒高等学校	札幌市	2
2	北海道札幌啓成高等学校	札幌市	2
3	北海道札幌国際情報高等学校	札幌市	1
4	北海道札幌国際情報高等学校	札幌市	1
5	北海道室蘭栄高等学校	室蘭市	2
6	北海道釧路明輝高等学校	釧路市	1

■ハワイ州から北海道への留学生一覧

※学年は留学当時
※ハワイ州における学年

	学 校 名	学校所在地	学年
1	Waipahu High School	ハワイ州 オアフ島	11
2			11
3			12
4			12
5			12
6			11
7			10

ふるさと納税による留学支援について

北海道教育委員会では、道立高校生の海外留学の促進のため、ハワイ州をはじめとする、道教委主催の高校生交換留学促進事業に参加する北海道の生徒に対して、参加費用である海外への渡航費用の一部を補助をしています。

今回の事業では、「北海道立学校ふるさと応援事業」による寄附金を活用し、北海道からハワイ州への派遣事業に参加する高校生に対し、補助を実施しました。（令和6年度は1人当たり5万円）

次世代の高校生交換留学促進事業参加者にもこのような支援を継続していくためには、今後も寄附金が必要となります。

留学を希望する高校生は多数いる一方、文科省が実施する国際交流等状況調査によると、「経済的負担が大きい」という理由から、留学を希望しない高校生も多数いることがわかっています。

留学費用の補助により、経済的負担を軽減し、より多くの北海道の高校生が、海外で多様な文化や価値観に触れる機会を創出することができます。

寄附は、ふるさと納税制度を通じて、企業や個人単位で行うことができます。「北海道立学校ふるさと応援事業」の趣旨に賛同いただける方は、是非ご支援をよろしくお願いいたします。

交換留学促進事業とは

北海道の高校生と北海道教育委員会が提携する地域の海外の高校生との間で、両地域の高校生がホームステイしながら高校に通い、授業やクラブ活動などに参加する事業です。

※北海道立学校ふるさと応援事業の寄附金活用先「B」

【提携地域】

- ・カナダ・アルバータ州
- ・アメリカ・ハワイ州
- ・ニュージーランド

【期間】

派遣・受入各2～7週間
(プログラム毎に異なる)

【参加人数】

派遣・受入各5～19名
(プログラム毎に異なる)

※令和6年度実績

北海道立ふるさと応援事業とは

北海道の次代を担う子どもたちが、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、ふるさと北海道を支えるたくましい人材へと成長できるように、北海道立学校における教育活動の充実のために、皆様にふるさと納税を活用した寄附をお願いする事業です。

寄附金の活用

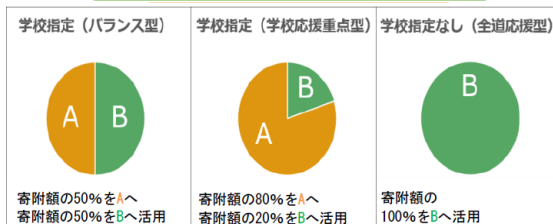
2つの事業に活用します

留学、商品開発、空調の3事業から活用先を選択



寄附の割合

3種類のタイプから選べます



寄附はここから

北海道教育庁学校教育局高校教育課
問い合わせ先 北海道立学校ふるさと応援事業
(高校予算係) 011-204-5762

高校生交換留学促進事業
(国際交流係) 011-206-6078



詳しくはホームページを御覧ください

北海道 ふるさと応援 検索

https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/furusato_top.html#chapter-1

4-1 派遣事業 (生徒編)

ハワイ留学レポート

北海道札幌月寒高等学校 2年

○参加した理由

私がこの留学に参加した理由は、幼いころから英会話スクールに通っていたことで、前から外国語や海外の文化に興味を持っていました。また自分の英語力を試したいともあり、応募しました。

○学校

まず、私がワイパフ高校に初めて入った際の第一印象は、校舎がとても広くて驚きました。生徒人数も2000人以上と知り、実際にとても大きい学校だということを体感しました。また、ワイパフ高校の大勢の生徒の前で自己紹介をした際には、スライドで写真が変わるたびに聞こえてくる一人ひとりの反応がとても大きくて、暖かい雰囲気を感じました。

授業で驚いたことは、一人ひとりの授業カリキュラムがそれぞれ全く違っていただけです。私のホストブラザーが工学系の学科に所属していたため、数学や物理などの理系の科目を受けることが多かったのですが、一方クッキングの授業ばかりで座学がほとんどない生徒もいました。また、私のホストマザーがワイパフ高校の先生だったこともあり、1年生の授業に参加させていただきました。三角形の合同の授業を受けるとともに、生徒に教える体験もさせていただきました。3年生のホストブラザーは数学では指数関数、物理では運動方程式の授業を受けており、学年や学科による授業内容のレベルの差に驚きました。そして、どの生徒も主体的だと感じました。ワイパフ高校の生徒は授業中にお菓子を食べたり、ゲームを始めだしたりと自由なスタイルで授業に参加していました。しかし、多くの生徒が自分から先生に質問したり、解説が始まるとしっかり聞いてメモを取ったり、日本語の授業では私たち留学生に日本語で積極的に話しかけてくれたりなど、主体性を感じました。



課外活動では日本語の授業を受けている生徒達と一緒に、スクールバスに乗ってハイキングに行きました。ほかの生徒達と話しながらハイキングを満喫しました。展望台からはクジラを見ることができました。札幌では沿岸からクジラを見ることのできないため、その光景に感動しました。クラブ活動では、ホストブラザーがテニスクラブに所属していたので、毎回参加させていただきました。チームのみんなの雰囲気がよく、お互いをたくさん褒めあっていました。コーチも生徒も私のプレーを「上手！」

「すごい！」と日本語で褒めてくれ、ワイパフ高校の皆さんの温かさを実感しました。ほかにも日本語クラブではマシュマロとパスタを使ってチームのみんなと意見を出し合い、頑丈で高いタワーを作るというゲームをしました。斬新なアイデアがたくさんあり、チームで協力してつくることはとても面白かったです。



○ハワイの文化

人がとてもフレンドリーだと感じました。ショッピングでの会計の際、日本語で「ありがとう!」と言ってもらえたり、ローラースケートでたまたま会った方から服が素敵だと褒められたりなど、街を歩くだけでもたくさん声をかけてもらえました。現地の日本出身の方にお会いした際には、おすすめの観光スポットや食べ物を教えていただくなど、多くの方が日本人に興味をもって話しかけてくれました。

私が一番興味深かったことはレイです。レイにはたくさんの種類があり、本物の花でできたものやリボンで作ったもの、石にペイントをして作られたもの、お菓子で作られたものなどがありました。レイは歓迎、お別れのしるしやお祝い、感謝を伝えるときに贈られるそうです。また、スポーツの大会で優勝した際にも贈られるそうで、ホストブラザーがたくさん見せてくれました。リボンのレイ作りを授業で体験したのですが、現地の生徒がものすごい速さで作るので驚きました。



○食

生魚やお米をよく食べていました。お米の袋が日本語だったので日本のお米だったと思います。また、食べ物の名前にも日本語がよく使われていたことに驚きました。「しゃぶしゃぶ」や「たこ」「豚骨」などがローマ字表記でメニューに書かれていたりもしました。また箸を使える方が多かったです。

水分をたくさんとっていました。大きいタンブラーを持ち歩く人が多く、カフェでも大きいサイズのドリンクを頼んでいる方が多かったです。また、タピオカのお店がとても多かったです。たくさんの種類のお店があったり、それぞれのお店に独自のフレーバーがあったりと、とても人気があるようでした。



○留学を通じて

この留学を通じて、私は語学の習得だけでなく、異なる文化や価値観に触れることで自分自身の視野が大きく広がったと思います。また、実際に異なる言語を使う環境に身を置く中で、改めて自分は語学学習が好きだということを再認識できました。

今回の留学では、北海道・ハワイ州高校生交換留学促進事業にかかわる皆様、ホストファミリーの皆様、ワイパフ高校の先生、生徒の皆様には深く感謝しています。この経験をもとに、今後も自分の視野を広げ、自己成長の一環としていきたいと考えます。



○事前課題の研究結果について

事前課題において私は「ハワイの観光業について」というテーマを設定しました。このテーマを設定した理由は私が将来観光業界に関わりたいと考えており、ハワイという世界的に有名な観光地でのサービスを知りたいと考えたからです。

現地では実際に商業施設などに行ったり、現地で知り合った方やホストファミリーへのインタビューをしたりしました。事前学習では観光客は本国の方だけでなく、日本人などのアジア系の観光客数が多く、飲食店でもアジア料理の人気の高いことが分かったので、「アジア系の観光客をターゲットにしたサービスが行われている」との予想を立ててみました。実際にお土産を取り扱っているお店では日本語で接客している場面を多く見かけました。また、現地にあるドン・キホーテのような日本のお店では商品の説明が日本語で書かれていたり、タピオカのお店は中国語表記のメニューがあったりなど、アジアからの観光客への対応が見られました。しかし、食に関してはピザのお店が一番人気だそうでお店も多く見かけました。また、現地の方からもピザはとても人気が高く、ピザもとても大きく、チーズがたっぷり乗っていて味付けも濃いめなものがほとんどでした。ほかにもシェーブアイスやポケなどハワイの料理も人気でした。アジア料理のお店はそれらに比べてそこまで観光客からの人気な印象を受けませんでした。

このことから、商業施設ではアジア系の観光客へのサービスが多く行われているが、食に関してはアメリカンな食べ物やハワイアン料理の方が人気が高いとわかりました。他の島でも同じ結果であるのかという疑問が新たに生まれたので、今後の研究課題にしたいと思います。

「留学を終えて」

北海道札幌啓成高等学校 2年

【出発日までのおもい】

僕にとって短期留学は二度目になります。もともと「海外」に興味を持っていて、異文化交流、いろいろな国のたくさんの人とコミュニケーションをとること、そして一番は、今の時代で英語は習得しておいて損はないものだったからです。英語力が上がると自分の話せるテリトリーも広がり、コミュニケーション力もあがるので、たくさんの観点からハワイへ向けて出発しました。

【留学中の思い出】

【1日目】

出発式後、羽田空港経由でダニエル・K・イノウエ空港へとハワイに到着。

道内の高校の生徒6名、引率の先生、この日初めて会ったとは思えないほど仲良くなれ、軽くですが緊張がほぐれるのを感じました。空港ではホスト生徒がレイをつけて出迎えてくれました。ホストファミリーの家に到着後、はじめてのハワイでの食事で「フライドライス」を食べました。初日というもあり、積極的に会話をするのは難しかったけれども、できるだけ話を続けたいという思いでファミリーと談笑したのを覚えています。夕方まで部屋でのんびりして、日曜日だったので教会へ礼拝に行きました。日本の教会とは大違いで、合唱団がいたり、楽器もたくさんあったり、オーケストラにいたような気分も味わえました。この日の夕食は「Zippy 's」というレストランでフライドチキンを食べました。ミニサイズでもかなりの量があって、食の違いを実感できました。



【2日目】

ワイパフ高校登校初日。時差ぼけのせいか朝3時に目が覚めてしまったが、オリエンテーションや校内ツアーを楽しみに登校しました。プレゼンテーションでは前の人のプレゼンが良い具合に完成度が高く、より一層緊張してきたが、持ち前の明るさで少しふざけた笑いのあるプレゼンをしたら大盛り上がり。それまでの緊張が一気に吹き飛んで、その後の学校生活を楽しむことができました。

【7、8日目】

土曜日は島を一周。ドールブランテーションやマツモトシェイプアイス、アロモアナセンター、ダイヤモンドヘッド。たくさん買い物して、たくさんおいしいものを食べて、たくさんきれいな景色を見て。帰宅後はホストファミリーのみんなでカラオケ。この文書では語り切れないほどたくさんの思い出を作ることができました。



【9日目】

この日は参加者全員でハイキング。絶景を見ることができるのはもちろん、そよ風を感じることができました。午後はビーチに行き、たくさん遊びました。モンクアザラシという絶滅危惧種が休んでいるのを見られ、ほかのホストファミリーの方ともお話ができ、計り知れないほどのコミュニケーションをとることができた。とても充実した日になりました。



【12日目】

学校でウクレレの授業を受けました。音楽が好きな僕はこの日をとても楽しみにしていました。この日受けた授業が忘れられず、現地でウクレレを自分のお土産として買いました。音楽は世界共通なのだと思うこともできました。

【事前課題の研究結果について】

1 テーマの設定の理由

事前課題において、私は「ハワイと日本の義務教育制度の違いについて」「授業内容と現地での生活について」というテーマを設定しました。

このテーマを設定した理由は、将来、教師になったときに国際交流のすばらしさや、ホームステイでの生活などを多くの子供たちに伝えることができるようになればいいと思ったからです。

2 研究結果

①ハワイと日本の義務教育制度の違いについて

ワイパフ高校と北海道の在籍校との違いで印象に残っていることは、学校の仕組みです。ワイパフの生徒は毎日首に学生証をかけて登校し、授業は各先生の教室に行っている日本の大学に似たシステムになっている点です。また授業中にお菓子を食べていたり、朝でも学食が食べられたり、さらには授業のシステムも大きく違って、曜日によって授業時間や下校時間、昼食の時間が異なるといった、日本との違いを実感できました。特に一番印象に残っていることは、先生がスイッチなど何事もなかったかのように、持ってきて遊んでいたことです。生徒も一緒に遊んでいて、初対面の僕も誘ってくれました。

日本では有り得ない光景に驚きを隠せなかった反面、楽しく遊ばせていただきました（笑）

また、ワイパフの生徒はみんなフレンドリーで優しく、気軽に話をすることができました。ホストのホームルームの生徒たちと友達になることができ、今でも連絡を取る仲にまでなっています。一生の宝物になりました。

②授業内容と現地での生活について

ワイパフ高校で授業を受け、生徒や先生にいろんなことを聞き、体験することを通じて、日本の学校との違いを調査しました。

実際に授業を受けて、日本とさほど変わりはなく、先生の性格が大きく授業に影響していると思いました。僕が受けた授業のほとんどは、授業中はお菓子を食べていてもよく、スマホやパソコンを自由に使えていましたが、ある授業では制限が多かったです。特に印象的なのは、授業の3分の1の時間が自由時間で教室内にいれば、何をしてもいいという先生がいたことです。生徒によると、ほぼ毎回こんな感じで、みんな遊んでいるよとのことでした。日本ではこのようなことは聞いたことがないので、とても驚きました。

ホストファミリーは初日から積極的に会話をしに来てくれて、不安や心配は一切なく過ごせました。すぐに家族の一員になれ、家族みんなでカードゲームをしたり、カラオケしたり、毎日楽しい日々を過ごすことができました。

お出かけをした際に、スーパーの店員さんなども初対面でも友達のように接してくれて、気楽に会話をすることができました。初めはなかなか英語が聞き取れなかったものの、2、3日経って日常生活に差し支えないぐらいに話すことができました。

【留学を通して】

2週間という期間ではありましたが、ハワイ留学をし、一番人と関わった時期でもありました。僕の留学を何不自由なくサポートして下さった教育委員会の方々・両親・ワイパフ高校の先生や生徒の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

学生のうちにしか体験できない貴重な体験をさせていただきました。今後の自分の人生において、将来の自信につながりました。

ワイパフ高校！オアフ島！最高でした。

ハワイでの2週間

北海道札幌国際情報高等学校 1年

私は、2025年の1月にハワイで2週間の交換留学を経験しました。この留学では、語学力の向上だけでなく、異文化交流や日常生活を通じて多くのことを学びました。研修期間中に印象に残った出来事や経験を振り返り、学びと成長について報告します。

1. 1日目の自己紹介プレゼン

研修の初日、最初に行ったのは自己紹介プレゼンテーションでした。私は自己紹介の内容を留学前から事前に準備し、英語でどのように自分や自分の住んでいる町を表現するかを考えスライドを作りました。最初は緊張しましたが、自分の趣味や好きなことにリアクションをもらうことで徐々にリラックスしていき、一方的なプレゼンではなく、聞いている人たちにも質問することで相互的なプレゼンにすることができました。プレゼン後には、同じ趣味を持っている人と交流したり、SNSを交換することで広い関係を持ったりすることができました。このプレゼンを通して私は英語で自分を表現する難しさを実感するとともに、他のクラスメートからの反応を通じて、自分の伝え方や表現力を向上させる必要があることを痛感しました。

2. 授業のスタイルに驚いた

授業については、最初に驚いたのは、座学中心ではなく、アクティビティが多いことでした。日本の授業とは異なり、実際に体を動かしたり、グループディスカッションをしたりと、学びを実践的に体験することが重視されていました。

例えば、日本語の授業でも、教科書などは使わずに、あらかじめ用意された日本語文が書いてあるカードを使いランダムな人と質問し合うアクティビティや、日本語で自己紹介のスライドをつくりみんな議論し、訂正し合うなどの個人での作業は少なく、実際に誰かと話したり議論したりする言語を学ぶ意味を改めて気付かされるような授業でした。

またハワイならではの授業内容として、地域の歴史や文化について学ぶことができ、特にフラの授業は初めてフラを踊ることを体験した自分にとってとても印象深く、自国の文化が学校の授業で習うことができるのは素敵なことだと思いました。

3. クッキングクラスでクッキーを作った

研修中に特に楽しかったのは、クッキングクラスでアメリカンスタイルのクッキーを作ったことです。この授業では、材料を計量し、焼き上げる過程を英語で指示を受けながら進めました。

普段、日本でクッキーを作ることはありますが、アメリカンスタイルのレシピで作るのは初めてでした。英語での指示を聞き取りながら、パートナーや一緒に行った交換生と協力して進めることで、コミュニケーション力やチームワークを養うことができました。

また、でき上がったクッキーをみんなで食べるときは、クッキーがとっても甘くて休み時間が終わる間近に慌てて食べていたことが私にとってかけがいのない思い出です。



4. 放課後のテニスクラブ活動

放課後には、テニスクラブに参加しました。仲間たちと一緒にプレーすることで、運動を楽しむとともに、英語でのコミュニケーション力を高めることができました。テニスクラブでは、現地の学生や交換生と一緒に練習をし、試合を行う中で、自ら英語を話したり、相手の英語を聞いたりする機会がありました。スポーツを通じて、英語を使うことでより自然に会話ができるようになり、楽しいだけでなく非常に実践的な学びを得ることができました。

また、テニスをするすることで、現地の学生との距離も縮まり、たくさんの友達を作ることができました。



5. アウトレットやショッピングモールでの買い物体験

研修の中で、地元のアウトレットやショッピングモールに連れて行ってもらった機会がありました。

日本のショッピングモールとは少し異なり、アメリカのアウトレットモールでは多くのブランド商品が割引価格で販売されており、品揃えの豊富さに驚きました。ショッピングを通じて、現地の人々がどのような買い物を楽しんでいるかを観察することができ、また、店員と英語でやり取りをすることで、実践的な会話力を高めることができました。また物価の違いを痛感することができ、このような体験は、単に買い物を楽しむだけでなく、言葉や文化を学ぶ絶好の機会となりました。



6. ハワイのビーチ

そして、ハワイと言えばビーチです。研修中、ホストファミリーにビーチに連れて行ってもらい、青い海と白い砂浜に囲まれた自然の美しさを存分に感じることができました。

ビーチでは、交換留学生とサーフィンをしている人々を見たり、海水浴を楽しんだり、ファミリーが持ち寄ってくれたごはんを食べたあとはコートでバレーをすることができました。

ビーチで過ごす時間は、日本では体験できないような素晴らしさで心からリフレッシュできるものでした。

また、ビーチで他の交換生のパートナーと交流することで、この交換留学プロジェクト全体をより良いものにできたと感じ、この体験は研修期間中でも特に記憶に残る素晴らしい思い出となりました。



7. まとめと事前研修の報告

この2週間のハワイでの研修は、私にとって非常に有意義な経験となりました。英語力の向上はもちろん、異文化理解や人とのコミュニケーションを深めることができました。私は今回の留学が人生で初めての海外でとても緊張していて正直出発前日は不安で全然眠れませんでした。しかしホストファミリーはもちろん現地の人はとても優しくワイパフ高校の生徒さん達は初対面でもフレンドリーに接してくれて出発前の不安は消え、ハワイにはこんなにたくさん素敵な人がいるのだと知れました。

また、今回交換留学に参加するにあたり、色々な人と出会い、視野を広げる、様々なものを見て外国に対する意識を変える、言語以外でコミュニケーションにおいて大切なことを知るという目標・課題を事前に設定していました。

これらの課題に関しては、ワイパフ高校やハワイのお店などで積極的にコミュニケーションをとることで留学に行く前よりもっと外交的な姿勢をもつことができ、英語でどのように表現するかわからない時にはすぐに翻訳に頼るのではなく表情などで相手に伝える姿勢を示すことで相手に好印象を与えたり、たくさん会話してくれたりすることがわかりました。しかしその一方で自分の英語力のなさを痛感し、これからも英語を勉強してよりグローバルな人間に成長できるように頑張りたいと思いました。

ハワイでの2週間

北海道札幌国際情報高等学校 1年

Day1 1/12 sun

日本を出発。初めて留学と一緒にいく友達と話した。ハワイに到着してすぐホストファミリーが歓迎してくれて嬉しかった。家に行ったらすぐシャワーを浴びさせてくれてそこからお昼ごはんを食べに Liliha Bakery へ行った。初のロコモコに挑戦した!昼ご飯のあとは家に帰って2時間くらい昼寝したモアナ1を観た!!夜ご飯は uncle Kris (ホストファザー) がしゃぶしゃぶを作ってくれた。デザートに Liliha Bakery のココパフというシュークリームに似たスイーツを食べた。英語が全然聞き取れなくてピンチ△

家のシャンプー類は 100%オーガニックのものだった。髪の毛がきしむ。匂いはすごくココナッツ。

Day2 1/13 mon

初めてワイパフ高校に行く日。朝は5時半に起きて Lotus (ホストシスター) と一緒に朝ご飯にフレンチトーストとぶどうを食べた!登校は向かいの家の tiffany も一緒! Lotus が生徒会メンバーなので朝は生徒会室に向かって、昼ご飯もそこで食べるようになった。生徒会の先生と日本語の先生のスミス先生が花をくれた!授業でワイパフの生徒が学校案内をしてくれた。学校がとても広いことと、学校からパールハーバーが見えることにびっくりした。放課後は大学の授業を受けて帰った。夜ご飯はビーフシチューだった。



Day3 1/14 tue

朝ご飯はマクドナルドのプレートだった。朝に学校でにわとりの親子を見た。ハワイは道路や家の周りなどいろんなところににわとりがいる。この日は初めて日本語以外の授業を受けた。昼ご飯はサンドイッチとぶどうとプレッツェルを食べた。学校がこの日は1時過ぎまでだったからあまり疲れなかった。放課後はグランマが迎えに来てくれて、一緒にシェイプアイスを食べ、その後はショッピングに行った。夜ご飯のあとにウベのドーナツを食べた



Day4 1/15 wed

朝ご飯にマクドナルドのマフィンとハッシュポテトを食べた。この日は aunty Monica が先生をやっているナナクリ高校に野家先生と行った。aunty Monica がナナクリ高校の T シャツをプレゼントしてくれた!ナナクリはワイパフとは全然違って、周りは海と山に囲まれていた!乾燥地域なので山が茶色くてほぼ木が無かった。私以外のみんなはワイパフでフラの授業があったらしい。楽しみにしていた授業だったから少し悔しい。でもナナクリを満喫できた!放課後はセブンイレブンでスパムむすびを買ってもらった。おいしい。その後

はワイパフのテニス部に行った🎾



Day5 1/16 thu

朝ご飯に Lotus がトーストを焼いてバナナを切ってくれた!今日は放課後に家の周りを散歩してから 4km 歩いてスターバックスに行って、その後はバスキンロピンスに行って日本にないフレーバーのアイスクリームを食べた🍦帰ってきてから、maverick (ホストブラザー) と家でワークアウトした。maverick と仲良くなってきた:)ワークアウトのあとに、この日にあったハワイの歴史の授業の内容を Lotus と Maverick が分かりやすく説明してくれた。その後は夜ご飯を食べて、maverick とチェスをした。私の考える時間が長すぎて 2 時間近くかかった。勝った🏆maverick がこれから毎日チェスをしよう!と言ってくれた。ホストファミリーみんなとよくお話をするようになって仲良くなってきたと思う!毎日楽しい。



Day6 1/17 fri

この日は学校でダンスの授業があった。みんな優しかったし、写真もたくさん撮って連絡先も交換できて楽しかった。放課後にスミス先生がみんなにアサイーボウルを買ってくださった。念願のアサイーで嬉しかった:)帰りは Maverick が迎えに来てくれた🚗帰り道に家の周りをドライブしながらたくさんお話しした!ハワイの車の免許証は虹色らしい🌈夜ご飯は panda express を Lotus がテイクアウトしてきてくれた。フォーチュンクッキーを食べた。いいことが書いてあった。Maverick は今までのフォーチュンクッキーの紙を財布に入っていて、見せてくれた。チェスは負けた。夜は aunty Monica の提案で aunty Monica と Maverick とホラー映画鑑賞会をした。アナベルとクワイエット・プレイスを観た。ファミリーと夜ふかししてすごく楽しかった!毎日ホストマザーとファザーがホームシックになっていないか心配してくれるけど毎日すごく楽しくて全く感じていない🌟



Day7 1/18 sat

朝からスワップミートに行ってアロハドレスを買った。その後にお昼ごはんを

Locomoco で食べて、コストコともう一つ大きなスーパーマーケットに行ってきた。夕方からはワイパフの女子サッカー部のハワイチャンピオンシップの試合をカイザー高校へ見に行ってきた。負けてしまったけどサッカー観戦が初めてだったのですごく楽しかった🏆帰ってきてから、寝る前に Maverick と Barbie の映画を観た。チェスは今日も負け。

Maverick がハーバード大学の生徒で、ハーバードのTシャツをくれた👕



Day8 1/19 sun

この日は特に予定がなかったから朝は 10 時くらいにおきた。お昼のあと、aunty Monica が龍音とハワイの電車に乗って、ショッピングセンターに連れて行ってってくれることになった。が、電車はこの日やっていなくて来週の土曜にもう一度連れて行ってってくれると言ってくれた。だからこの日はショッピングセンターで買い物をした。その後、龍音と私を dave's ice cream に連れて行ってってくれた🍦私はウベアイスを食べ、龍音はクッキードウのアイスを食べた!夕方からはホストと留学生でローラースケートに行った。Leonard's BAKERY のマラサダも食べた。自分のホストだけじゃなくて一緒に留学に来た友達とも仲良くなれたから安心。チェスはまた負けた。



Day9 1/20 mon

みんなでハイキングに行った。あまり長くないコースで、疲れすぎずみんなと楽しく話しながら登れた。Lotus は風邪を引いて来られなかった。ハイキングのあとは龍音のおすすめの zippy's でハンバーガーを食べた。今日は Maverick が送り迎えしてくれた。帰ってからは uncle Kris が nimitz beach に連れて行ってってくれた🏊たくさん Lotus と Maverick と泳いだし、初めてパドルボードにも挑戦した!帰ってからは英字新聞を家族みんなで読む会をして少しだけ語彙が増えた。チェスは負けた。夜ご飯はカルアポークを作ってくれた!めちゃめちゃ美味しくてたくさん食べた:)uncle Kris の作るご飯はどれも美味しい!

ハワイの日焼け止め事情について聞いたら、規制が厳しくない地域もあるからそんなに化学物質が海に流れ込むことは防げてないように感じると言っていた。でも家で使っている日焼け止めとボディークリームはオーガニック 100%のものだった。また、海に行ったらゴミ箱がたくさんあるのにペットボトルや釣りに使うものなどのポイ捨てがまあまああった。



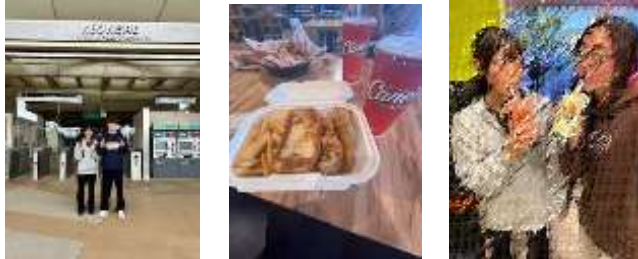
Day10 1/21 tue

この日は学校が早く終わって、Maverick が迎えに来てくれた。帰って一緒にふみはの進路について調べてくれた。将来の夢についてもたくさん話して、絶対叶えると宣言してきた。少し英語の勉強も教えてもらった。そのあとすぐチェスをして負けた。チェスをしたあとは Maverick が文波の写真を印刷して家族写真がたくさん貼ってあるところに混ぜてくれてうれしかった。「ふみは polite で、頭が良く、とてもいいホストファミリーだ」って Maverick が頑張って日本語で伝えてくれた。このあとに一緒にピザを作ってスナックに Lotus と Maverick と食べた。夜は Maverick と Barbie の映画を観た。



Day11 1/22 wed

この日は放課後に学校のブックストアでワイパフ高校のフーディーを留学生みんなで買った。その後は龍音と龍音のホストマザーと aunty Monica と電車に乗りに行った。ハワイの電車はすごく揺れるし車よりも遅かった。電車に乗ったあとは raising cane's に行っておチキンを食べた。チキンを食べに行くまでの道中に aunty Monica と話して笑いすぎてしばらくしゃっくりが止まらなかった。チキンを食べたあとは学校に Lotus を迎えに行ってお帰り道に boba を飲んだ。スムージーにタピオカが入ったようなものすごくおいしかった! チェスはまた負けた。この日は家族全員で写真を撮った。



Day12 1/23 thu

朝ご飯にコストコのシナモンマフィンを食べた。日本にはない種類のマフィンだった。この日はお昼にワイパフ高校のレストランに留学生みんなが招待された。学生が作ったとは思えないほどのクオリティーの料理がたくさん出てきてびっくりした。帰ってから Lotus は会議があって、aunty Monica と uncle Kris は外出していたのでインサイド・ヘッドを観た。その後にリビングで音楽を聞いていたらソファで寝てしまっていた。疲れのせいか起こされたときなぜか日本にいる気分でした。しばらく状況が掴めなかった。その後はチェスをした。最終マッチだったけど負けた。結局最初の試合しか勝てなくて、手加減してくれたのかと優しさを感じた。この日は早めに寝た。



Day13 1/24 fri

ワイパフ高校最終日。Maverick の大学が始まってしまうので朝でお別れだった。お手紙を渡した。悲しすぎて死にそうだったけど放課後に Lotus とビデオ通話をかけたらまだフライトのまえで少しだけお話できた。そのあとは Lotus と大学の授業を受けて家に帰った。帰ってすぐ Lotus とライスクリスピーを作った!おいしくてかわいいのができた!その後みんなでお別れディナーがあった。私のスピーチで Lotus が泣いていて、本当に良いホストを持ったなと改めて思った。帰ったあとにファミリーからプレゼントをたくさんもらった。ハーバードの family って書いたステッカーももらった。夜に向いの Tiffany のお母さんがワイパフのパーカーをプレゼントしてくれた。



Day14 1/25 sat

みんなでゆっくり過ごせるのはこの日が最後だったから朝から nimitz beach に連れてってくれて sun raise をみた!私は日が昇るのを見るだけだと思っていたけど、uncle Kris も Lotus も水着を着ていて泳ぐつもりだったらいい!私は水着を着て行ってなかったから普通の服のまま海でたくさん泳いだ。人がぜんぜんいなくて海が濁っていなかったから魚も見えた!uncle Kris はこの日もパドルボードに乗って釣りをしていた。一匹釣れて、夜に調理してくれた。Lotus と砂浜を歩いてゴミ拾いもしてきた。家に帰ってシャワーを浴びてすぐアラモアナセンターに連れて行ってくれた。アラモアナセンターではまた raising cane' s でチキンを食べ、その後に Lotus おすすめのピンスを食べた。帰ってホストマザーファザーは外出しなきゃいけないからインサイド・ヘッドを観て、リビングで音楽を聞いていたらそのまま寝てしまった。夜ご飯のあとは早めに寝た。

Aunty Monica とお話していたら「はじめはゆっくり喋ってあげていたけど最近は普通のスピードで喋っていても理解できているよね!」って言われた。たしかに会話も映画もしっかり理解できるようになっている気がする。留学にきた甲斐があったと思う。



Last day 1/26 sun

最終日。とにかく帰りたくなかった。でも帰るしかない。朝ご飯にきなこもちとごまのもちとぶっかけうどんを作ってあげた。みんなおいしいと喜んでくれて私まで嬉しかった。ごはんのあとはみんなでアップルサイダーを飲んだ!家を出発する前にお手紙を置いてきた。空港については日本の友達に会える楽しみとバイバイしたくない気持ちが半々だった。